

平成27年度 川崎区区民アンケート 概要版

調査の概要

調査の目的	「川崎区区民アンケート」は、区民の意識や区役所サービス等に関する要望を調査することにより、地域の課題を把握し、区民会議における調査審議課題、区政運営及び区の企画立案の参考資料とすることを目的として実施しました。
調査の方法	<ul style="list-style-type: none">・ 調査地域 川崎区全域・ 調査対象 川崎区在住の満18歳以上の男女個人（外国人市民を含む）・ 標本抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出・ 標本数 2,000標本・ 調査方法 郵送配布—郵送回収法・ 調査期間 平成27年12月25日（金）～平成28年1月25日（月）
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 住みやすさについて・ 川崎区役所の広報について・ 川崎区役所が行っている事業の要望について・ 今後の防犯、防災、災害対策について・ 健康、福祉等について・ 川崎区区民会議について・ 市民活動及び地域活動への参加について
回収状況	<ul style="list-style-type: none">・ 有効回収数 900標本・ 有効回収率 45.0%

※基数となるべき実数（n）は、各設問に対する回答者数です。

※百分率（%）の計算は、小数第2位以下を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。

※複数回答の設問においては、%の合計が100%を超える場合があります。

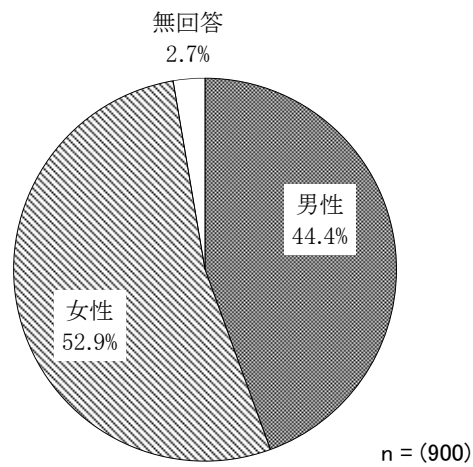
※表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

目 次

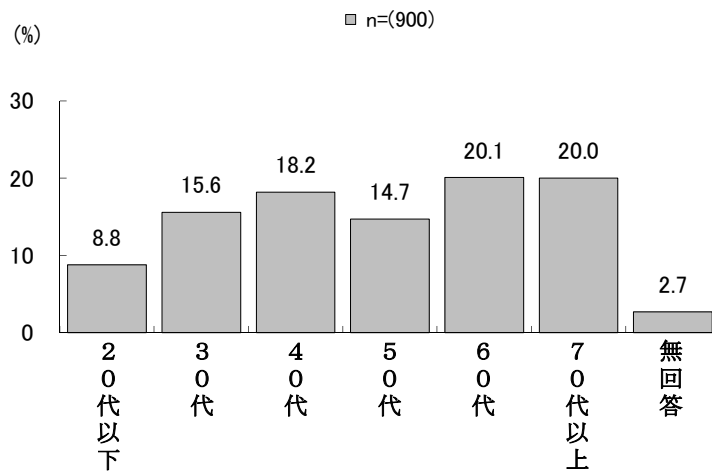
I	回答者の属性	1
II	各質問項目の要約	3
1	住みやすさについて	3
2	川崎区役所の広報について	4
3	川崎区役所が行っている事業の要望について	5
4	今後の防犯、防災、災害対策について	6
5	健康、福祉等について	7
6	川崎区区民会議について	8
7	市民活動及び地域活動への参加について	10

I 回答者の属性

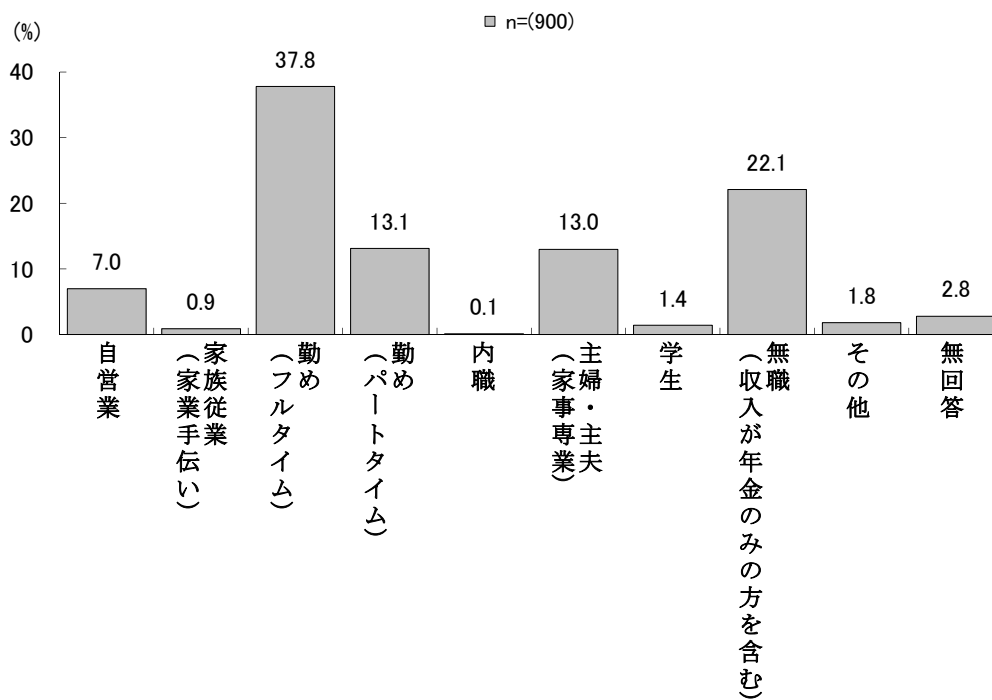
(1) 性別



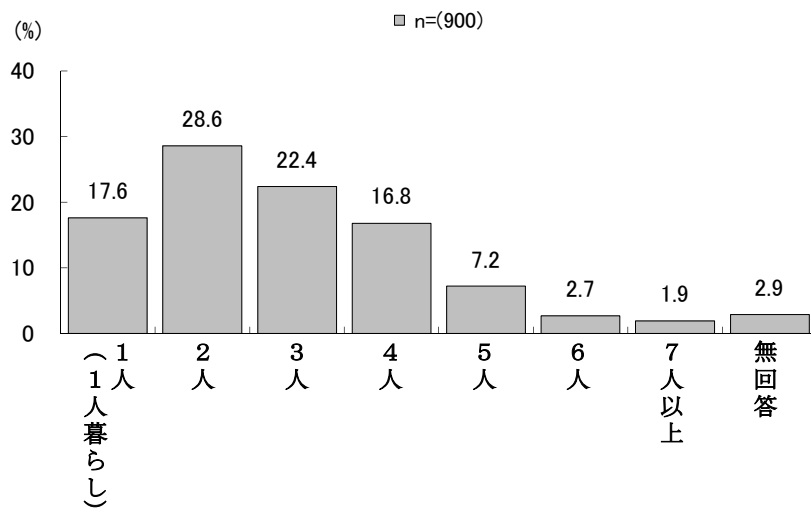
(2) 年齢



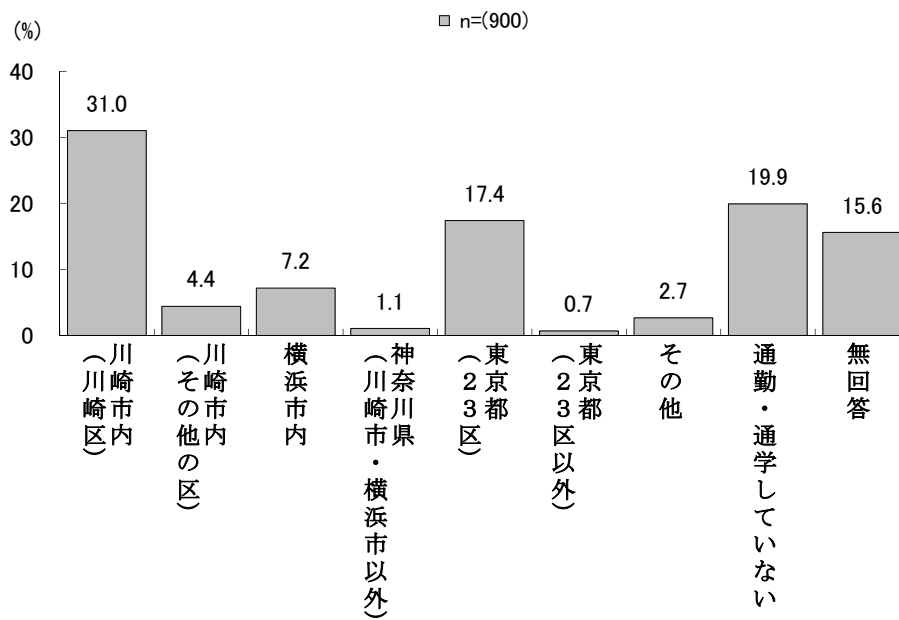
(3) 職業



(4) 同居人数



(5) 勤務先・通学先

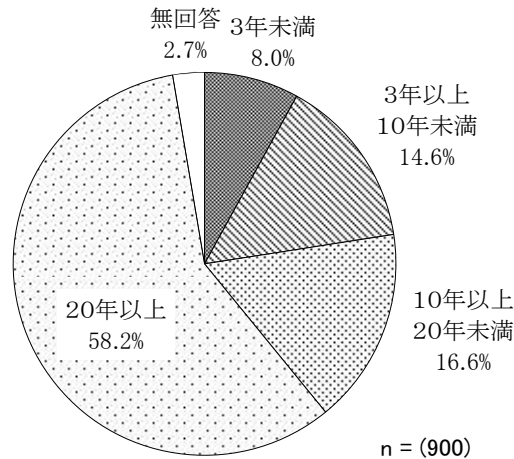


II 各質問項目の要約

1 住みやすさについて

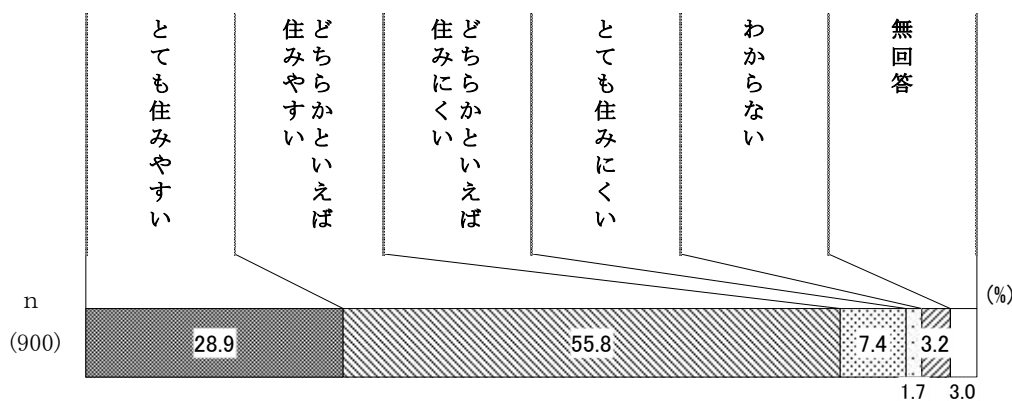
(1) 居住年数

「20年以上」(58.2%) が最も高く、次いで「10年以上～20年未満」(16.6%) と続いている。



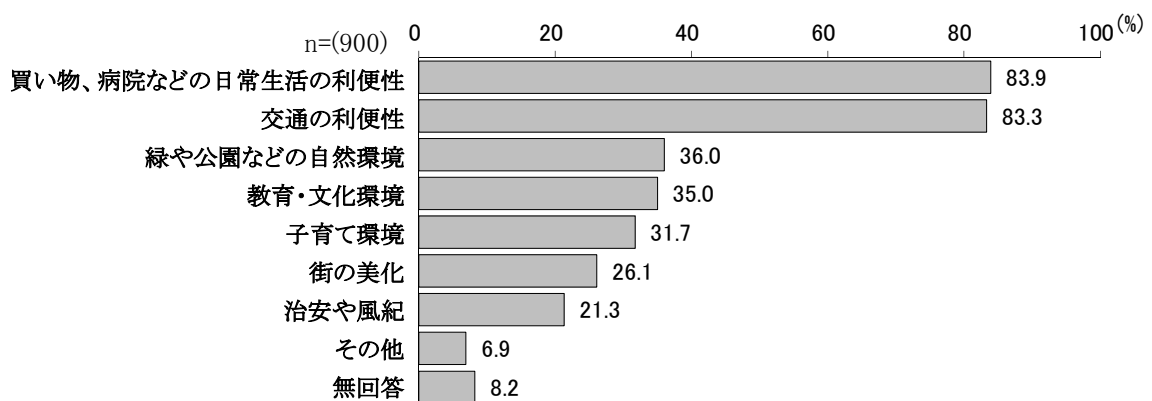
(2) 川崎区の住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」(55.8%) が最も高く、次いで「とても住みやすい」(28.9%) と続いている。



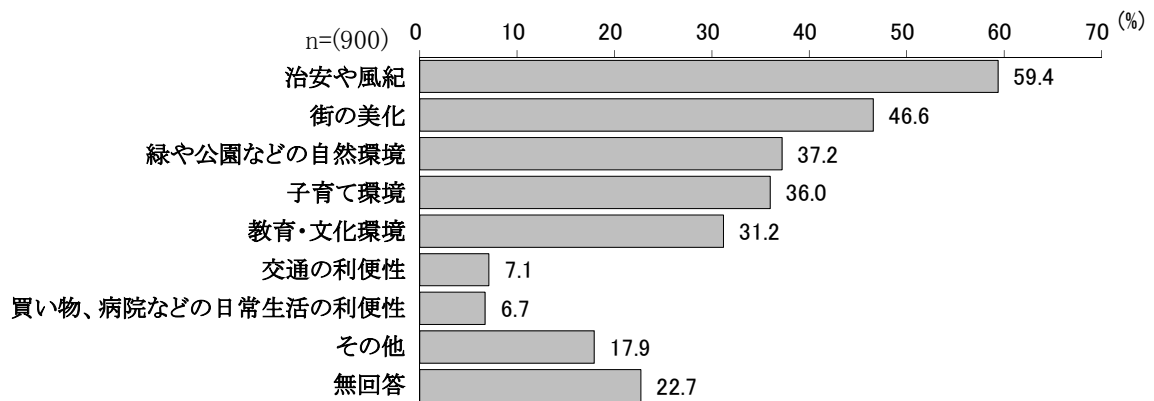
(3) 川崎区について良いと思うもの

「買い物、病院などの日常生活の利便性」(83.9%) が最も高く、次いで「交通の利便性」(83.3%)、「緑や公園などの自然環境」(36.0%) と続いている。



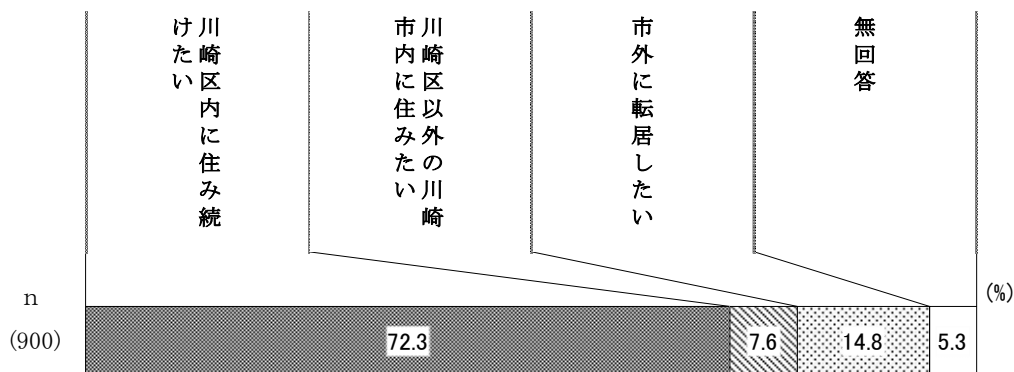
(4) 川崎区について良くないと思うもの

「治安や風紀」(59.4%)が最も高く、次いで「街の美化」(46.6%)、「緑や公園などの自然環境」(37.2%)と続いている。



(5) 今後の定住意向

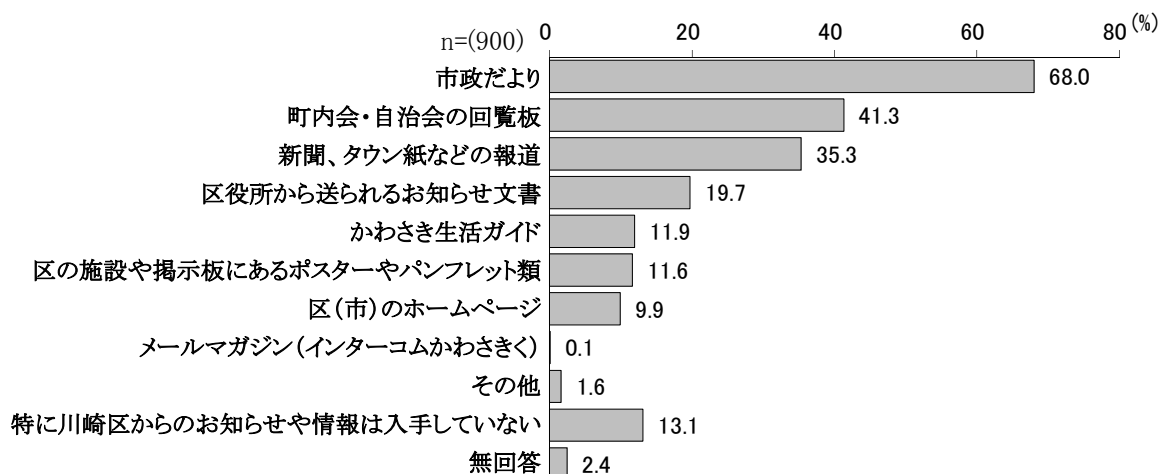
「川崎区内に住み続けたい」(72.3%)が最も高く、次いで「市外に転居したい」(14.8%)と続いている。



2 川崎区役所の広報について

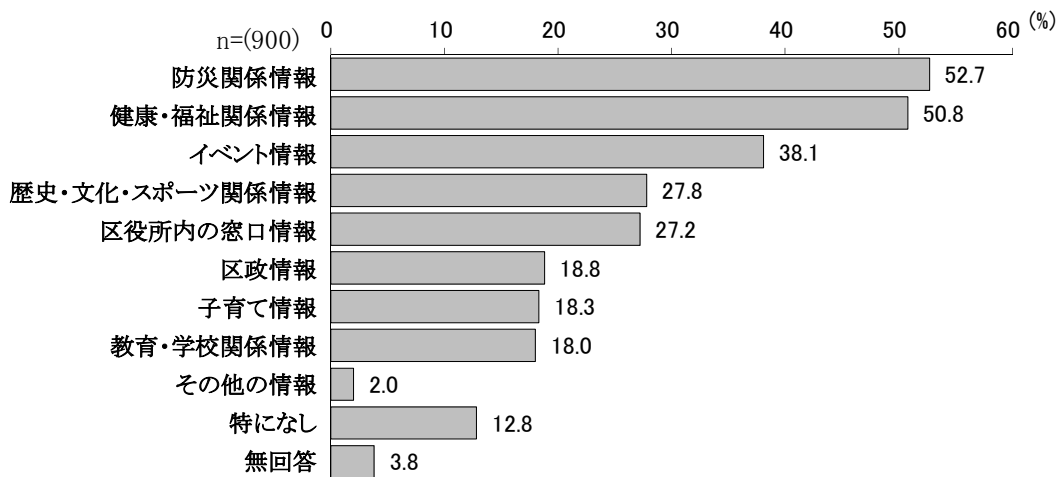
(1) 川崎区からの情報の入手手段

「市政だより」(68.0%)が最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板」(41.3%)、「新聞、タウン紙などの報道」(35.3%)と続いている。



(2) 「市政だより」について充実して欲しい情報

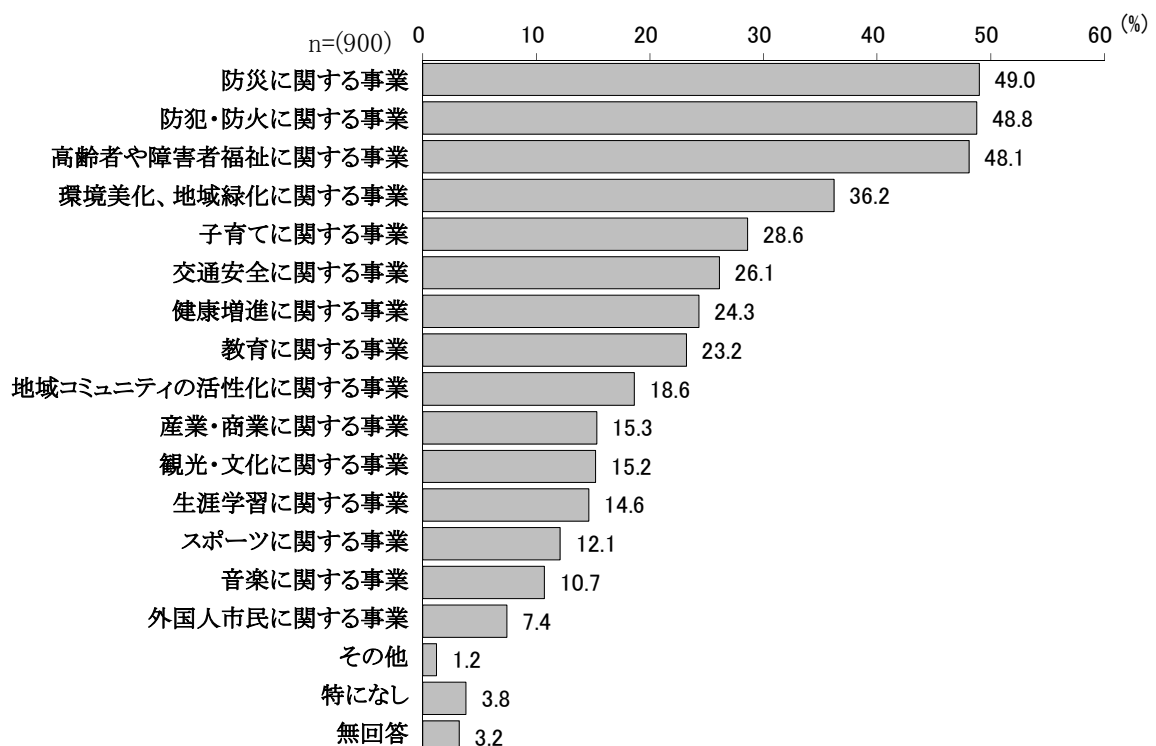
「防災関係情報」(52.7%)が最も高く、次いで「健康・福祉関係情報」(50.8%)、「イベント情報」(38.1%)と続いている。



3 川崎区役所が行っている事業の要望について

(1) 今後、特に力を入れて欲しい事業

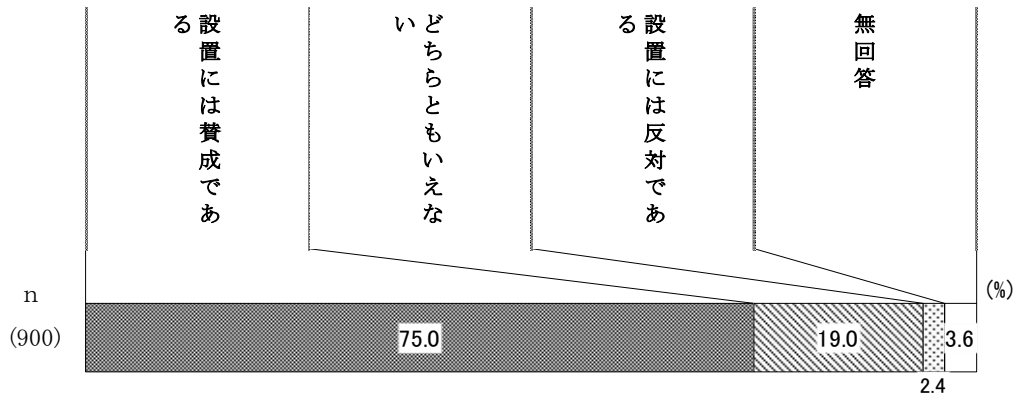
「防災に関する事業」(49.0%)が最も高く、次いで「防犯・防火に関する事業」(48.8%)、「高齢者や障害者福祉に関する事業」(48.1%)と続いている。



4 今後の防犯、防災、災害対策について

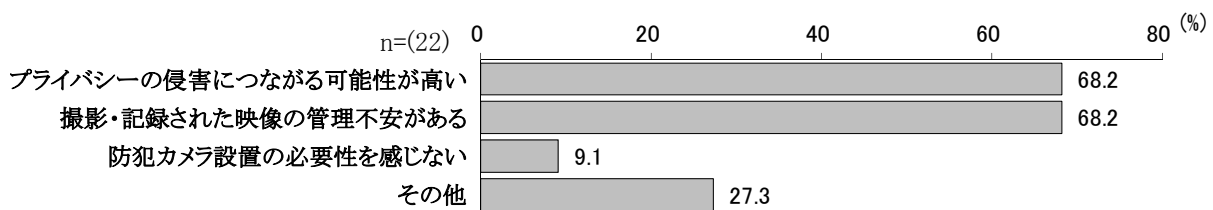
(1) 地域住民団体等が防犯カメラを設置することについて

「設置には賛成である」(75.0%)が最も高く、次いで「どちらともいえない」(19.0%)と続いている。



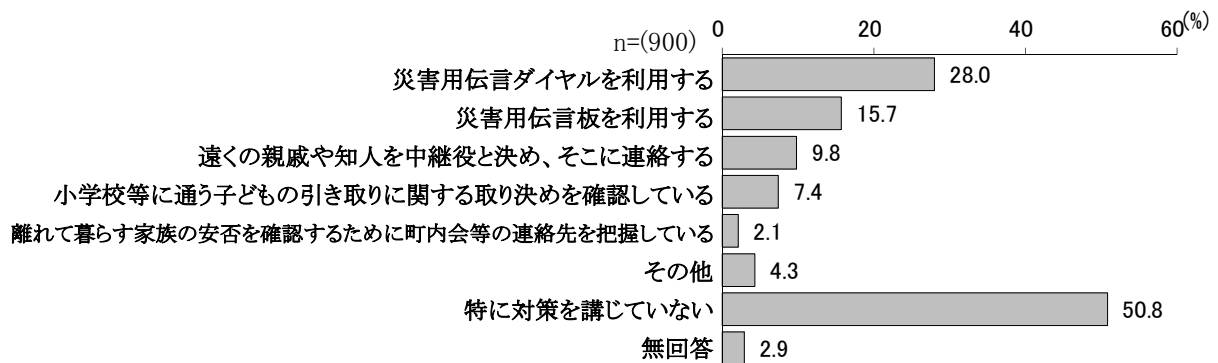
(2) 防犯カメラの設置に反対する理由

「プライバシーの侵害につながる可能性が高い」(68.2%)、「撮影・記録された映像の管理不安がある」(68.2%)がそれぞれ高くなっている。



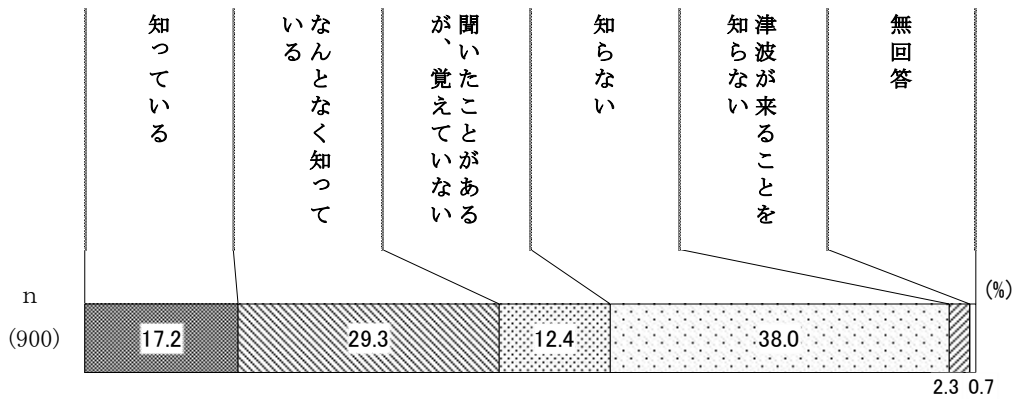
(3) 家族や身近な人と災害が起きた時の安否確認の方法

「特に対策を講じていない」が最も高い。一方、取り決めでは「災害用伝言ダイヤルを利用する」(28.0%)が最も高く、次いで「災害用伝言板を利用する」(15.7%)、「遠くの親戚や知人を中継役と決め、そこに連絡する」(9.8%)と続いている。



(4) 居住地での最大規模の津波の高さの認知度

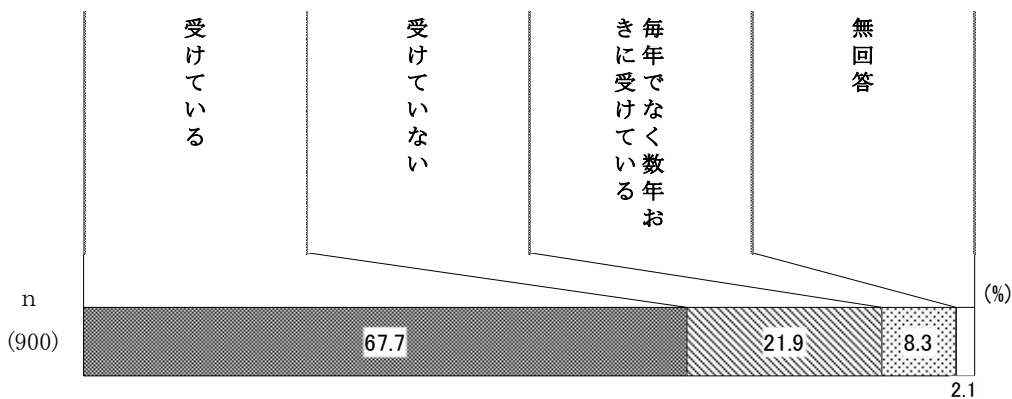
「知らない」(38.0%)が最も高く、次いで「なんとなく知っている」(29.3%)と続いている。



5 健康、福祉等について

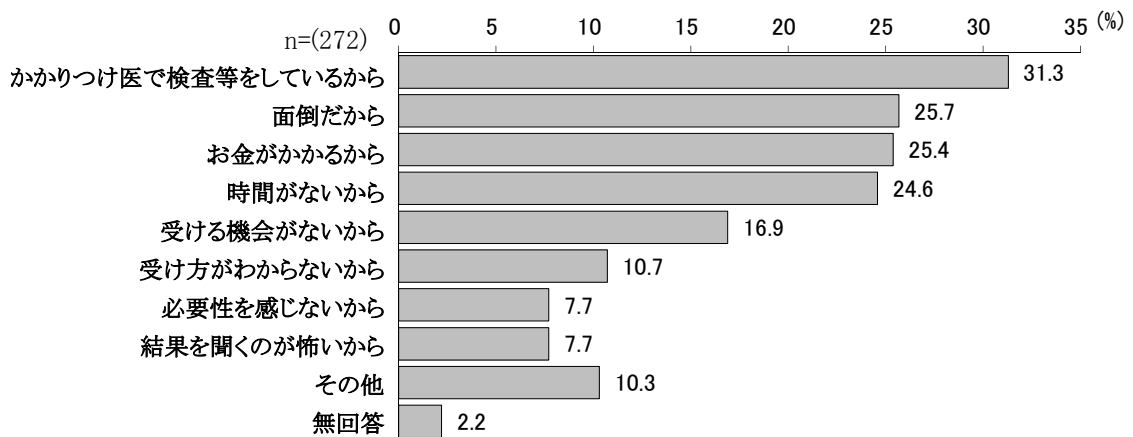
(1) 毎年の健康診断の受診状況

「受けている」(67.7%)が最も高く、次いで「受けていない」(21.9%)、「毎年でなく数年おきに受けている」(8.3%)となっている。



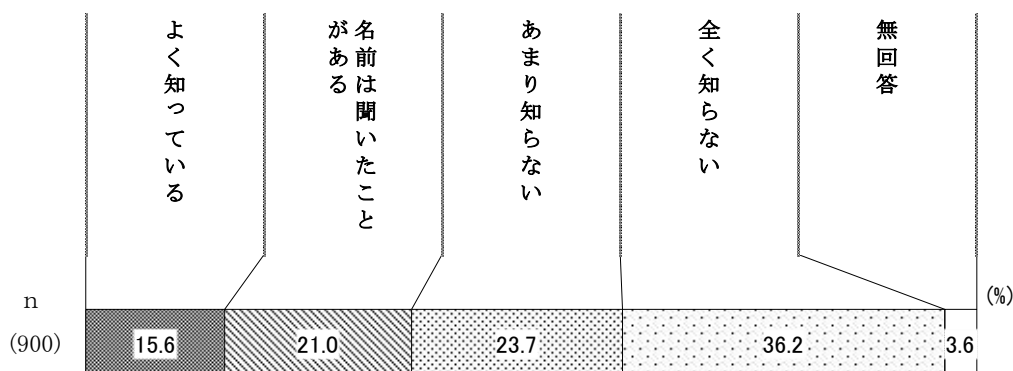
(2) 健康診断を毎年受けない理由

「かかりつけ医で検査等をしているから」(31.3%)が最も高く、次いで「面倒だから」(25.7%)、「お金がかかるから」(25.4%)、「時間がないから」(24.6%)と続いている。



(3) 「地域包括支援センター」の認知度

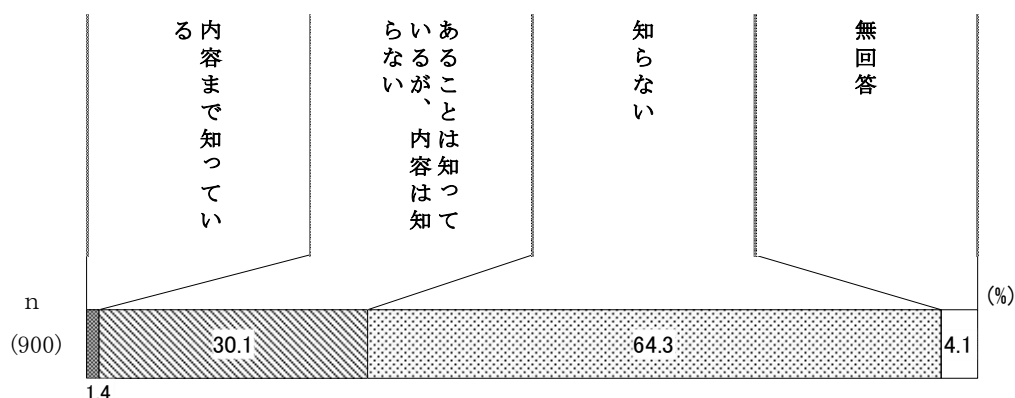
「全く知らない」(36.2%)が最も高い。以下、「あまり知らない」(23.7%)、「名前は聞いたことがある」(21.0%)、「よく知っている」(15.6%)と続いている。



6 川崎区区民会議について

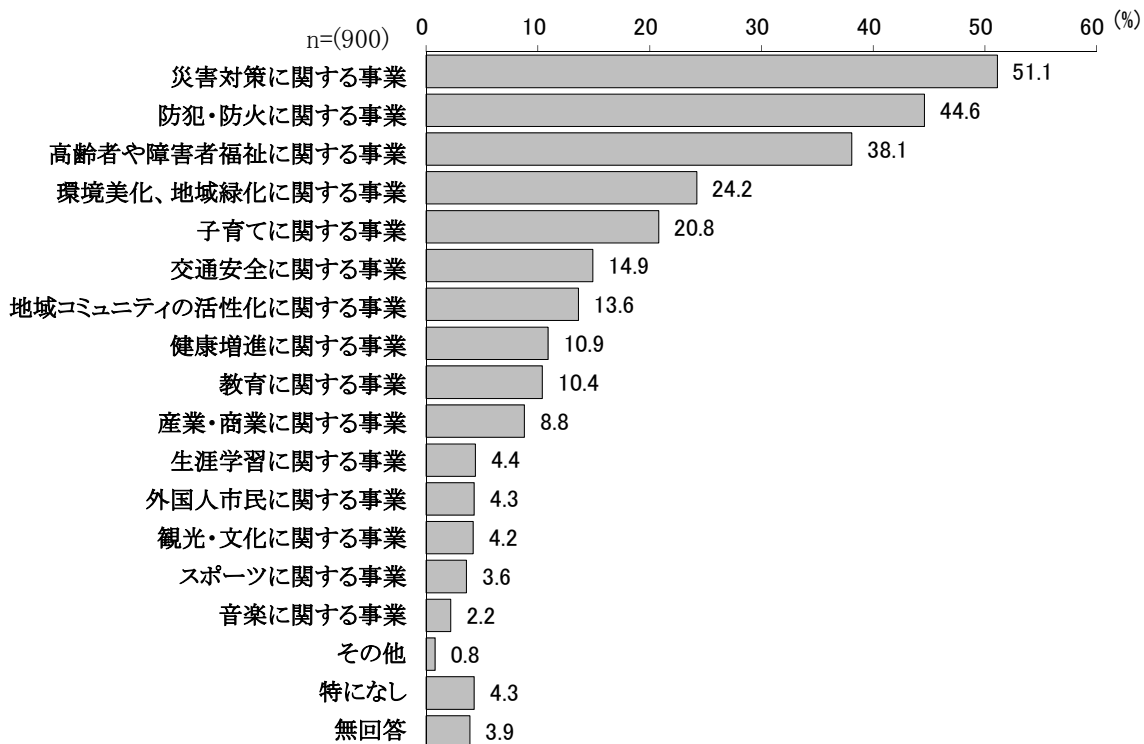
(1) 区民会議の認知度

「知らない」(64.3%)が最も高く、次いで「あることは知っているが、内容は知らない」(30.1%)と続いている。



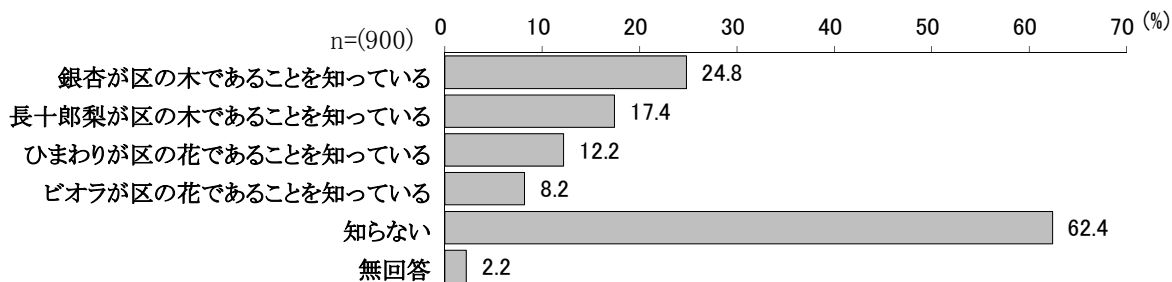
(2) 区民会議の議題として望ましいもの

「災害対策に関する事業」(51.1%)が最も高く、次いで「防犯・防火に関する事業」(44.6%)、「高齢者や障害者福祉に関する事業」(38.1%)と続いている。



(3) 「区の花」・「区の木」の認知度

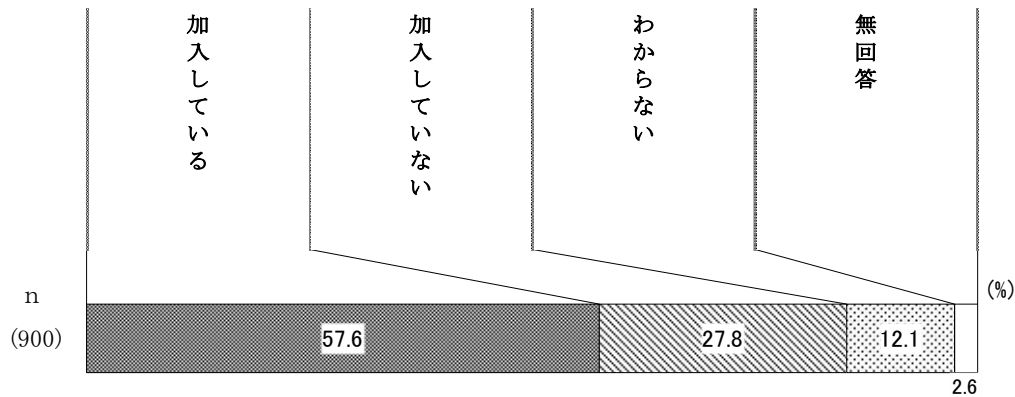
「銀杏が区の木であることを知っている」(24.8%)、「長十郎梨が区の木であることを知っている」(17.4%)と続いている。一方、「知らない」は62.4%と最も高くなっている。



7 市民活動及び地域活動への参加について

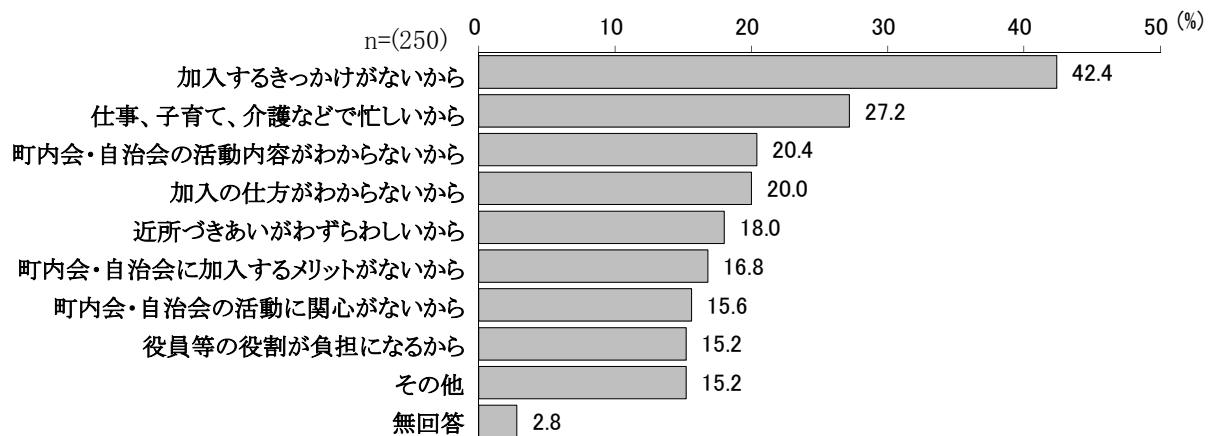
(1) 町内会・自治会への加入状況

「加入している」(57.6%)が最も高く、次いで「加入していない」(27.8%)と続いている。



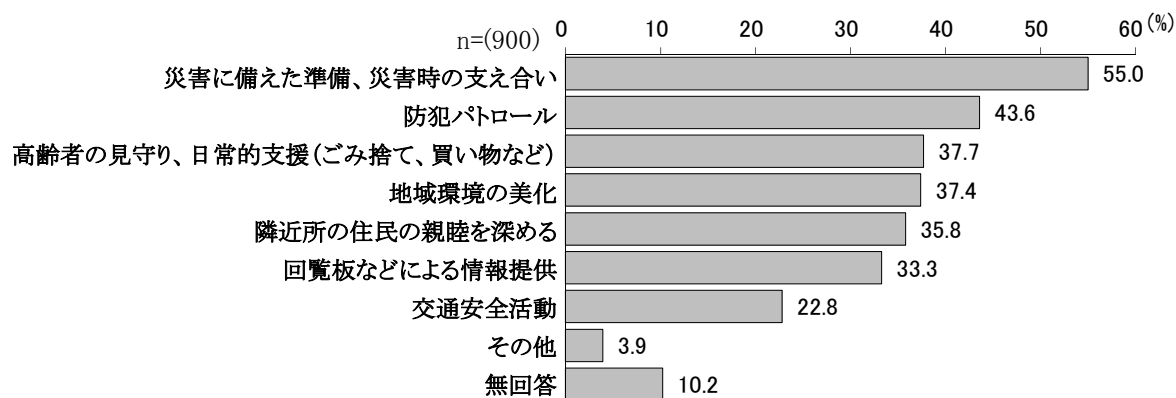
(2) 町内会・自治会に加入していない理由

「加入するきっかけがないから」(42.4%)が最も高く、次いで「仕事、子育て、介護などで忙しいから」(27.2%)と続いている。



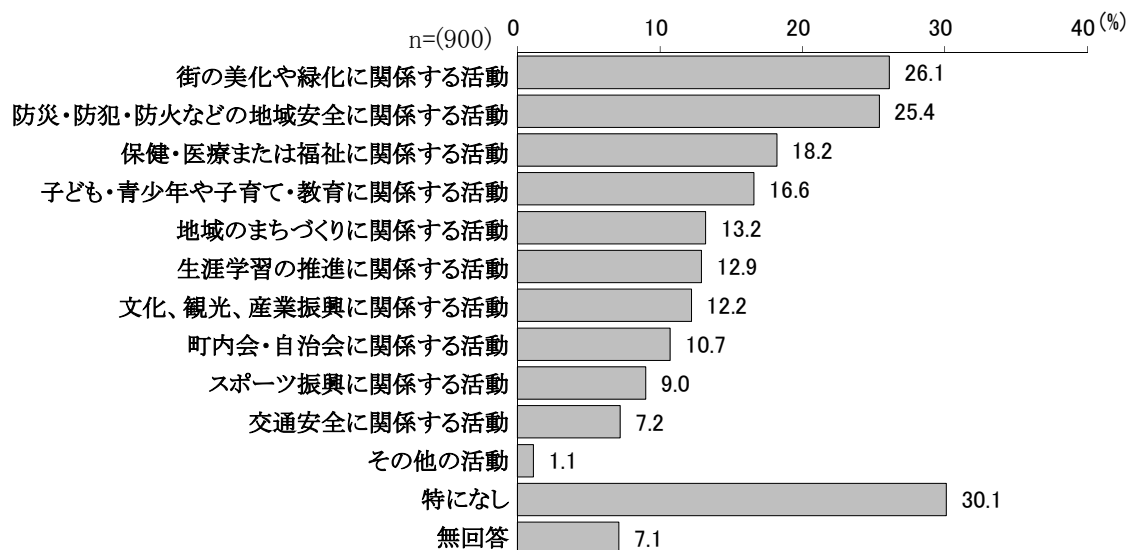
(3) 町内会・自治会に期待する役割

「災害に備えた準備、災害時の支え合い」(55.0%)が最も高く、次いで「防犯パトロール」(43.6%)、「高齢者の見守り、日常的支援(ごみ捨て、買い物など)」(37.7%)、「地域環境の美化」(37.4%)と続いている。



(4) 参加してみたいと思う地域活動の分野

「街の美化や緑化に関する活動」(26.1%)が最も高く、次いで「防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動」(25.4%)、「保健・医療または福祉に関する活動」(18.2%)と続いている。一方、「特になし」は30.1%となっている。





平成27年度 川崎区区民アンケート <概要版>

平成28年3月

発行 川崎区役所まちづくり推進部企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地

TEL 044-201-3267 (直通)

FAX 044-201-3209